

はじめに

生涯学習推進課では、身近なところから環境保護をテーマにした「環境ゼミナー」を1か月半にわたって開催しました。今年度は「みんなの川（信濃川）」について考えよう」と題し、日本一長い川「信濃川」に焦点をあてて様々な角度から水と環境問題について考えました。

参加者は小学生をはじめ、あらゆる年代の方、総勢32名が募り、様々なプログラムに取り組みました。第1、2回目の講義では信濃川の水質問題の実情と今昔等について理解を深め、第3回目に黒埼町と新潟市の下水処理施設を見学しました。また、第4回目には参加者自身が持ち寄った様々な水について試験を実施し、さらに第5回目は「信濃川クリーン作戦」に参加し、ゴミ拾いを行いました。

そして、最終回を講座のまとめとして、参加者から環境問題について活発に意見を交わしていただきました。今年の夏は、特に厳しい暑さが続きましたが、猛暑の中での移動学習や早朝からのゴミ拾いなど、参加者の皆さんは熱心に取り組んでいました。その様子

を参加者の声をまじえて報告します。

【受講結果】

- 受講者総数32人
- 第1回 7月19日(水) 「私たちの水が危ない！」参加者16人
- 第2回 7月25日(火) 「信濃川の今昔を知ろう！」参加者10人
- 第3回 8月1日(火) 「町の水はこう処理される！」参加者21人
- 第4回 8月8日(火) 「水質試験をしてみよう！」参加者22人
- 第5回 8月21日(月) 「信濃川をきれいにしよう！」参加者13人
- 第6回 8月29日(火) 「私たちにできることを考えてみよう！」参加者14人

第5回「信濃川クリーン作戦」体験レポート

8月21日(月)の早朝6時から開催された「信濃川クリーン作戦」には総勢250名の参加者が募り、そのうち環境ゼミナー受講生からは13名が参加しました。黒埼まつり終了後のゴミ拾いも兼ねたクリーン作戦でしたが、花火の残骸の他に、様々な

ゴミが落ちていた現状に、皆さん驚いている様子でした。空き缶、ビニール、紙屑、煙草の吸殻、プラスチック容器、電池など手渡された大きな回収袋が1時間でいっぱいになるほどのゴミを拾いました。

「クリーン作戦に参加した人たちの声（アンケートより）」
信濃川大橋から善久河川敷公園までの短い区間でも人が汚している実情がよく分かり、川の中へはどのくらいゴミが入っているのか恐ろしくなりました。この実態を他の住民は分からないのではないかと。犬のフンが多くありました。ひとりひとりの自覚が大切だと思います。犬の散歩には犬のフンなどの処理道具の持参を徹底させるべきだ。

道路周辺は割ときれいであるが、草丈の高い草地に入るとゴミ捨てが目立つ。せつかくの水と緑に満ちた環境を汚すことのないよう何らかの措置が必要と思う。毎年、黒埼の花火は楽しみに見てきました。翌日、役場の職員やボランティアの方が後始末をしてくださっていたことを参加して初めて知りまし

り、ひとりひとりができることから意識することが大切だと思う。

最終回「座談会」の様子

8月29日(火)、「私たちにできることを考えてみよう！」をテーマに、第1、4回目の講師、建設省北陸技術事務所吉川進さんと環境問題について話し合いました。

はじめに、黒埼町の下水道の現状とこれからについて話し合われました。北部にある汚水処理施設「ときめきクリーンセンター」は、ときめき地区の汚水処理しか行っていないという現状をこの講座で知り、早く町全体に下水処理が完備できるようにと訴えていました。

また、信濃川をテーマにした環境問題についてのみなならず、日々新聞に折り込まれてくる広告の多さや商品の過剰包装など、資源を無駄にしている日本の生活のスタイルを見直さなければならぬという指摘もされました。

さらに、普段のリサイクル実践の中でトレーやペットボトルはきれいに洗浄してからリサイクルに出すが、結局は水を汚すことになるのではないかと。昔の生活が環境にやさしいと思う



第3回汚水処理施設見学の様子
ときめきクリーンセンター

環境ゼミナー体験レポート



微生物の入った活性汚泥で汚水の有機物を分解する様子

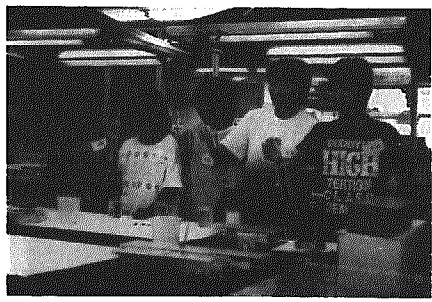
が、便利な生活がもたらした、この矛盾をどうしたら良いのかといった話も出されました。

その他にも、人が生活をしていく中で少なからず環境を汚してしまうのは仕方ないこと。その中で、できるだけ汚さないようにすることが大切。しかし、どんな工夫をすればよいか分からない。もっと具体的な知恵袋が欲しいといった今後の環境講座のヒントともいえるようなことも話し合いました。

最後に、コーディネーター役として参加してくださった吉川さんから、「水問題は実際に見えないので分かりづらい。やはり住民自ら、また行政施策の中で、環境を守るといって根強い意識改革や啓発活動が大切」として、「環境ゼミナー」について考えた「みんなの川（信濃川）」について考えよう」とまとめていただきました。

参加者たちの声（最終講座後回収したアンケートより）

環境問題は自分一人だけの実行では難しいので、町民の皆さんと共にできることから具体化できれば良いと思う。ゴミ拾いに参加して、1か月も雨が降らないのに、溝々と



第4回水質試験をしてみよう！

う、行政の中で取り組んでいかなければならないと思えます。受講して学んだことを友人や近所の中に話していきたいと思えます。

おわりに

今回の講座を通じて、「環境問題はさらに継続して理解を深め、実践していかなければならない。」「もっと多くの人に関心をもってもらいたい。」という意見が出されました。この「環境ゼミナー」体験レポートが、環境問題は一人の力ではなく、皆の力で取り組んでいくものであることを知ってもらおう機会となればと願っています。

生涯学習推進課では、来年度以降もテーマを変えて「環境ゼミナー」を開催していく予定です。

最後に、環境ゼミナーに参加し、貴重な意見をくださった32名の参加者の方、本当にありがとうございました。この講座にご参加いただき、体験した皆さんの生の声が、より多くの住民に届き、環境問題に目を向けてくれればと願っております。

(教育委員会生涯学習推進課)